	岩崎式日本語制作過程における検証質問実験の回答 岩崎純一 ※「 ϕ (ファイ)」は無標 (文字の記入がなかった)を表す。 ※ある番号の文の(a)が無標である場合にそれより大きい番号の文の(a)が有標となった回答などは、最下部に「その他」としてまとめた。 ※(a)と(b)の組み合わせについては、全ての組み合わせが見受けられた。 \rightarrow (a)が5通り、(b)が6通りなら、30通り													
	回答の分類	人数の割合) 活に支障がある 割合) (日		人数の割合) 活に支障がある 女性回答者(日		記入位置	1	2	3	4	5	6	7	
Â	言語に支障があり、質問文の認識不能	られる。言語障害者と考明だが、皆重度	1 0 0 %	えられる。の言語障害者と考不明だが、皆重度	1 0 0 %									
(B)	言語に支障が あり、質問文 の認識不能	られる。言語障害者と考明だが、皆重度	1 0 0 %	えられる。の言語障害者と考不明だが、皆重度	1 0 0 %									
(c)	言語に支障があり、質問文の認識不能		1 0 0 %	れる。言語障害者と考えら不明だが、皆重度の	1 0 0 %									

	(n-1)~(n-9) の全てが無標 または同じ またはは全 ままなる助 まなる り とは規則性な し	自閉症者 1 軍度解離性障害者 1、	1 0 0 %	者1 たりの おっぱ は まま まま まま ままま ままま ままま ままま ままま ままま ままま	1 0 0 %	全て	φ	100%	0	82%	で	53%	を	53%	が	31%	は	38%	と・<	24%
みが異なる 詞、それり は無標また 同じ助詞	(n-1)の(a)の みが異なる助 詞、それ以外 は無標または 同じ助詞	開症者3 重度解離性障	1 0	閉症者 2、 先	8 2 %	(n−1) Ø (a)	の	78%	で	69%	を	53%	は	34%	が	34%	に・ヘ	20%		
נו)	E E	害者 2、自	O %	天聾者 6、 1		それ以外	φ	93%	Ø	81%	で	52%	を	52%	が	34%	は	27%	に・ヘ	18%
	(n-1)の(a)と (n-2)の(a)が 同じ助詞、そ れ以外は無標 または同じ助 詞	天聾者 1 世障	1 0	アスペルガー	6	(n-1) の (a) と (n- 2) の (a)	の	72%	で	64%	を	51%	は	39%	が	33%	に・〜	28%		
		害者 1、先	O %	症候 群 者 5 5	4 %	それ以外	φ	100%	の	74%	で	53%	が	25%	は	18%	を	18%	に・ヘ	13%

	(n-1)~(n-3)閉重の(a)が同じ症度助詞、それ以者解外は無標また3離は同じ助詞性障		9 2	アスペルガーカ重度解離性障力	5 3	(n-1) ~ (n-3) Ø (a)	0	73%	を	73%	で	61%	が	42%	は	36%	に・〈	36%		
	(n-1)~(n-4) の(a)が同じ	害者 1、自	%	症害 候者 群1 34、	%	それ以外	φ	100%	の	70%	で	61%	が	37%	は	32%	を	25%	に・〜	25%
ります。	の(a)が同じ 助詞、それ以	アスペルガー	6	ペルガー症経解離性障害者	3	(n-1) ~ (n-4) Ø (a)	0)	84%	を	68%	で	59%	が	55%	は	55%	に・〜	47%		
H		「自 マスペルガー を	73%	が	67%	は	58%	で	49%	を	45%	と・<	25%							
[]	(n-1)~(n-5) の(a)が同じ 助詞、それ以 外は無標また は同じ助詞	ス ペ ル 戦 ガ 性		一調離 症症性 候者障		(n-5) O	Ø	80%	が	74%	は	62%	を	50%	で	26%	に・ヘ	34%		
		- 症候群 3 3	4 %			それ以外	φ	93%	の	81%	が	73%	は	45%	を	37%	で	15%	に・ヘ	15%

	(n-1)~(n-6) ペ重 の(a)が同じ ル度 助詞、それ以 ガ解 外は無標また 一離 は同じ助詞 症性 候障 群害		1 0 0	1 1 3 大性 2 、解	0 %	(n-1) ~ (n-6) Ø (a)	が	84%	0	72%	は	61%	を	48%	で	16%	と・ 〈	16%		
		群害 2 1、アス	%	離性障害者	/0	それ以外	φ	76%	が	76%	を	69%	は	54%	<i>O</i>	35%	で	18%	に・ヘ	16%
の(a)が同じ 助詞、それり	助詞、それ以 外は無標また	重度解離性障	5 8	者 8 8 女性 1 4、	0	(n-1) ~ (n-7) Ø (a)	が	93%	は	71%	Ø	64%	を	52%						
		障害者 2	%	解離性障害	%	それ以外	を	100%	φ	83%	が	74%	は	48%						
	(n-1)~(n-8) の(a)が同じ 助詞、それ以 外は無標また は同じ助詞	解離性障害者	0	害者 6 名 5 5	0 %	(n-1) ~ (n-8) Ø (a)	が	91%	は	74%	Ø	61%								
L)		1	%	解離性障		それ以外	を	100%	は	82%	φ	69%	が	63%						

M	(n-1)~(n-9) の全ての(a) が同じ助詞、 それ以外は無 標または同じ 助詞	一般 男 性 5 0	0	者2 2 6 8、	0	(n-1)~ (n-9)の全 ての(a)	が	100%	は	84%	Ø	68%								
			%	解 離 性 障 害	%	それ以外	を	100%	は	84%	が	56%								
の全 が「 のみ	(n-1)~(n-9) の全ての(a) が「が・は」 のみ、(b)が 「を」のみ	一般男性 7 8	0	一般女性47	0	(n-1)~ (n-9)の全 ての(a)	が	100%	は	98%										
		Ü	%	·	%	それ以外	を	100%												
の(a)か である: それよ い番号 そ (a)が有	ある番号の文 の(a)が無合の であるより大 でれ番号の文 (a)が有標と なった回答な	一般男性 1 3、	0	者 5 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	0	全ての(a)	φ	94%	<i>O</i>	79%	で	55%	を	62%	が	85%	は	92%	と・〈	38%
	ど	自 閉 症 者 4	%	解離性障害	%	全ての(b)	φ	91%	0	82%	で	49%	を	83%	が	48%	は	56%	に・ヘ	42%

Copyright (C) 2005-2012 岩崎純一 All Rights Reserved. http://iwasakijunichi.net/															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--